

# 他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 38 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 8 年 2 月

長浜商工会議所

---

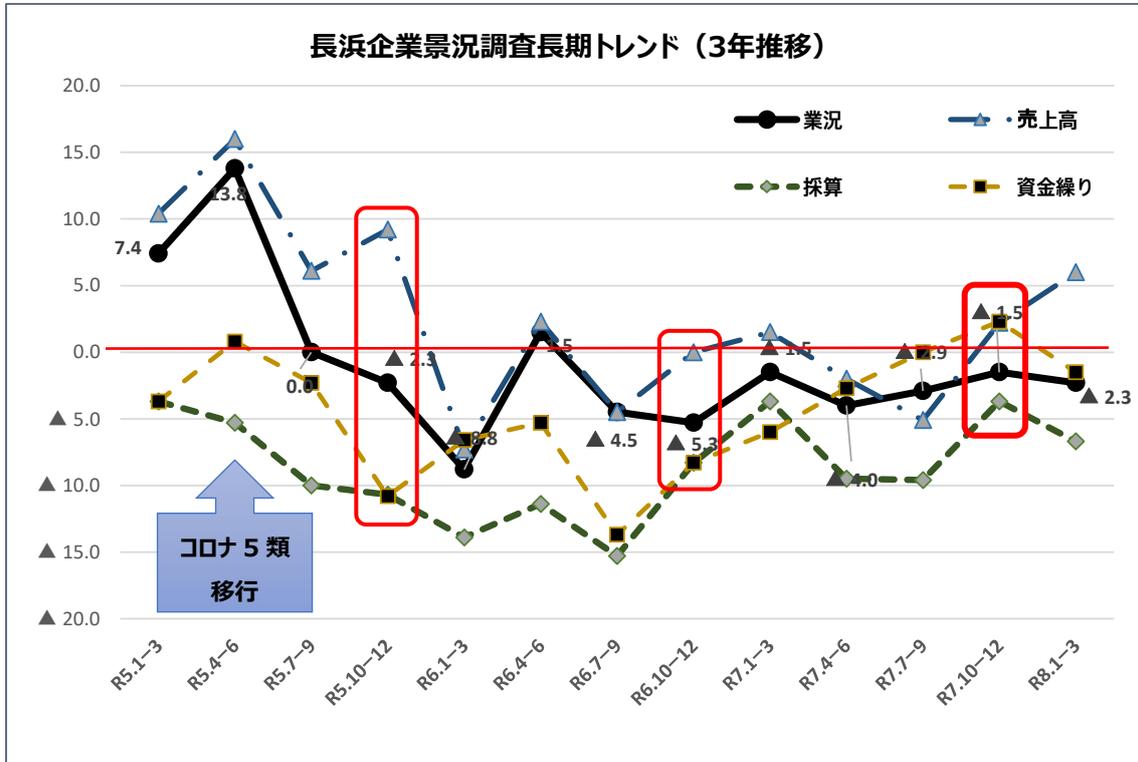
## 目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査：各種DIの長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査：採算・採算の水準DI・価格転嫁度の推移	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（(株)しがぎん経済文化センター編）	5
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	7
3. 近畿の景況	
(1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）	8
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	8
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観、企業物価指数、企業向けサービス価格指数（日本銀行）	9
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	11

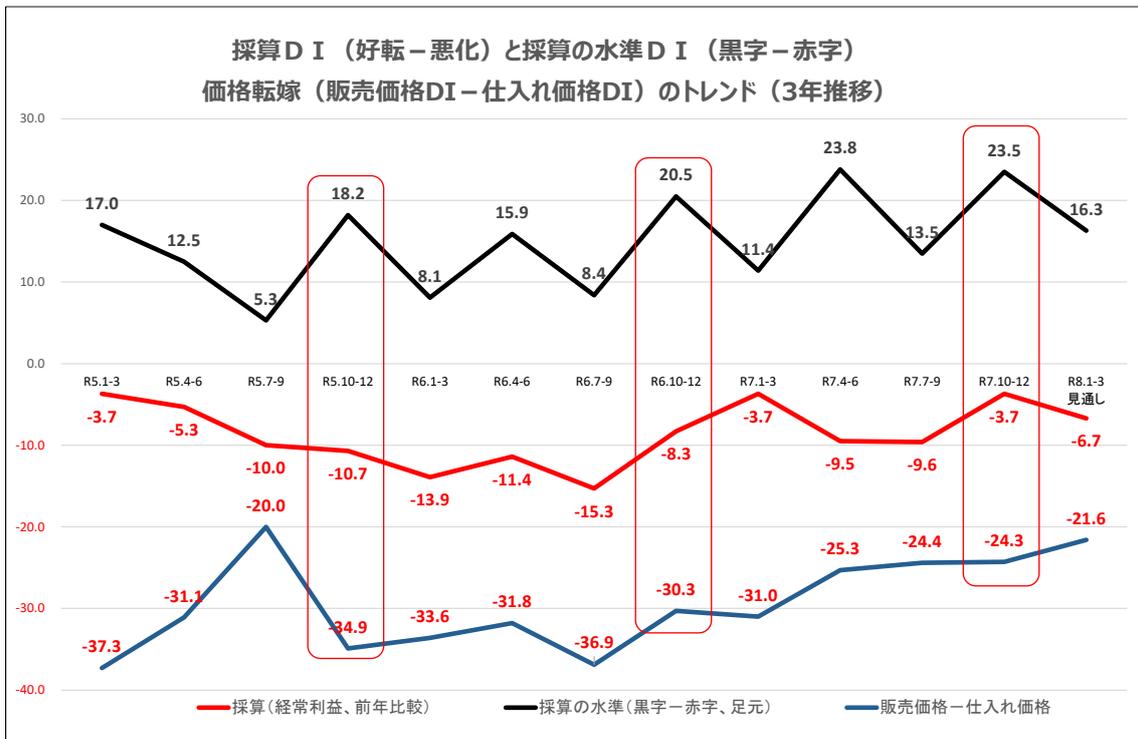
※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

# 1. 長浜市の景況

## (1) 長浜企業景況調査…各種DIの長期トレンド [前年同期比較]



## (2) 長浜企業景況調査…採算DI・採算の水準DI・価格転嫁度の推移(3年)



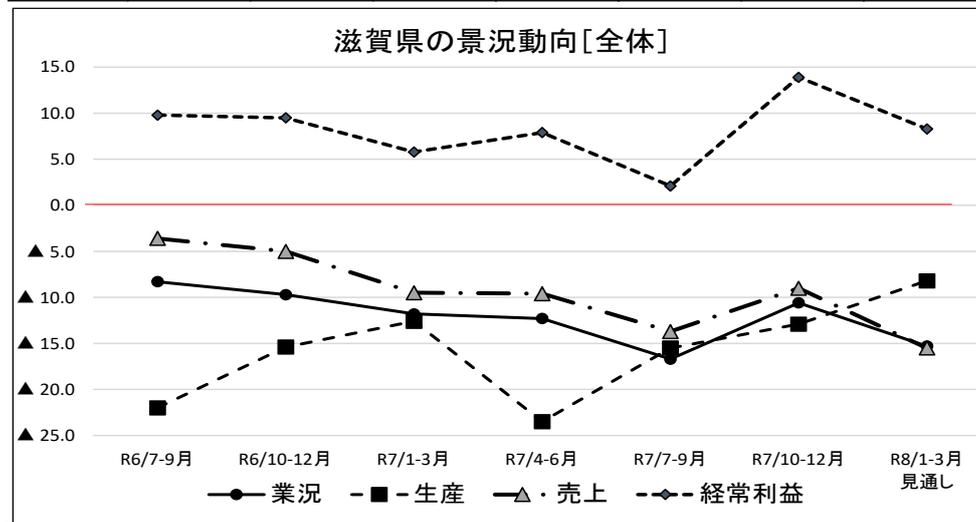
## 2. 滋賀県の景況

### (1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

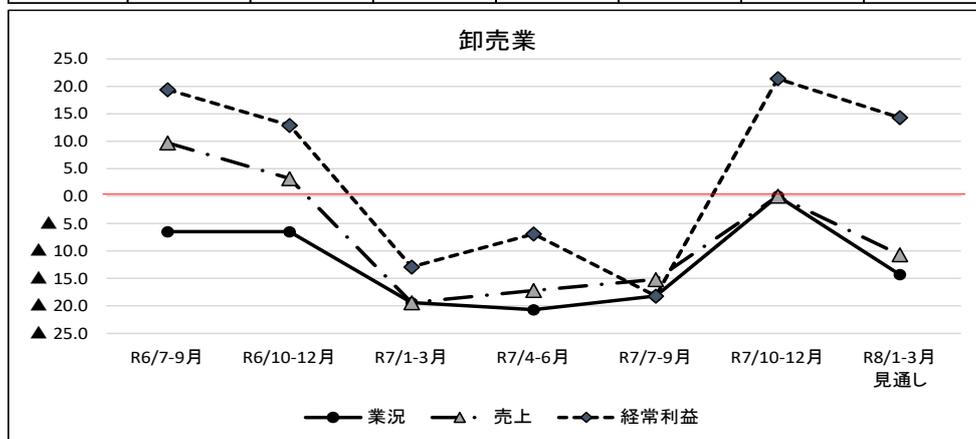
① 滋賀県の業種別景況動向（表中の傾向欄…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。）

（R7/10-12月実績、R8/1-3月見通し）〔前年同期比較〕

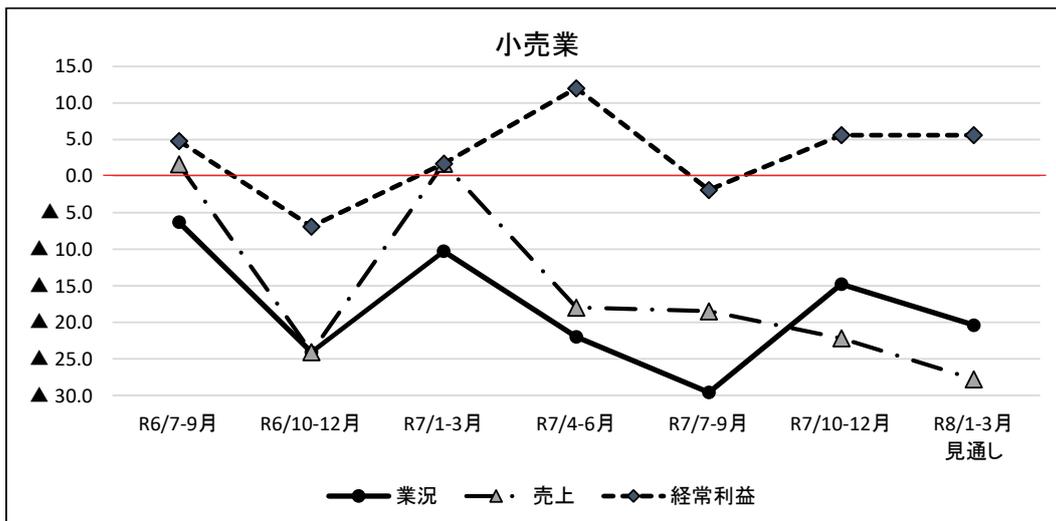
全体	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月	R8/1-3月 見通し
業況	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 12.3	▲ 16.7	▲ 10.6	▲ 15.3
生産	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 23.5	▲ 15.5	▲ 12.9	▲ 8.2
売上	▲ 3.6	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 13.7	▲ 9.0	▲ 15.5
経常利益	9.8	9.5	5.8	7.9	2.1	13.9	8.3
雇用の水準	▲ 42.9	▲ 39.4	▲ 37.5	▲ 36.7	▲ 36.9	▲ 34.0	▲ 35.2
傾向	●	×	×	×	×	●	×



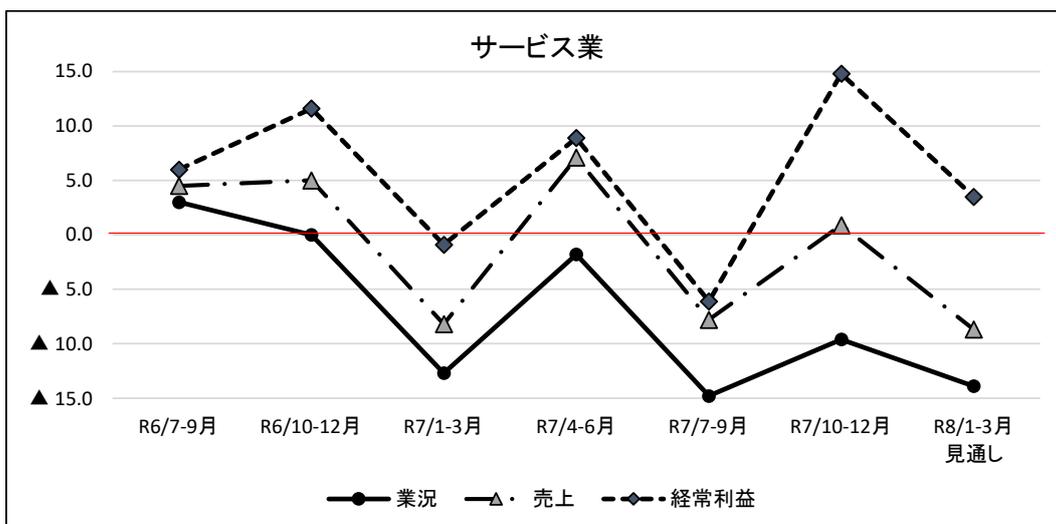
卸売業	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月	R8/1-3月 見通し
業況	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 19.4	▲ 20.7	▲ 18.2	0.0	▲ 14.3
売上	9.7	3.2	▲ 19.4	▲ 17.2	▲ 15.2	0.0	▲ 10.7
経常利益	19.4	12.9	▲ 12.9	▲ 6.9	▲ 18.2	21.4	14.3
資金繰り	0.0	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 20.7	▲ 8.8	▲ 14.3	▲ 28.6
傾向	●	▲	×	×	●	●	×



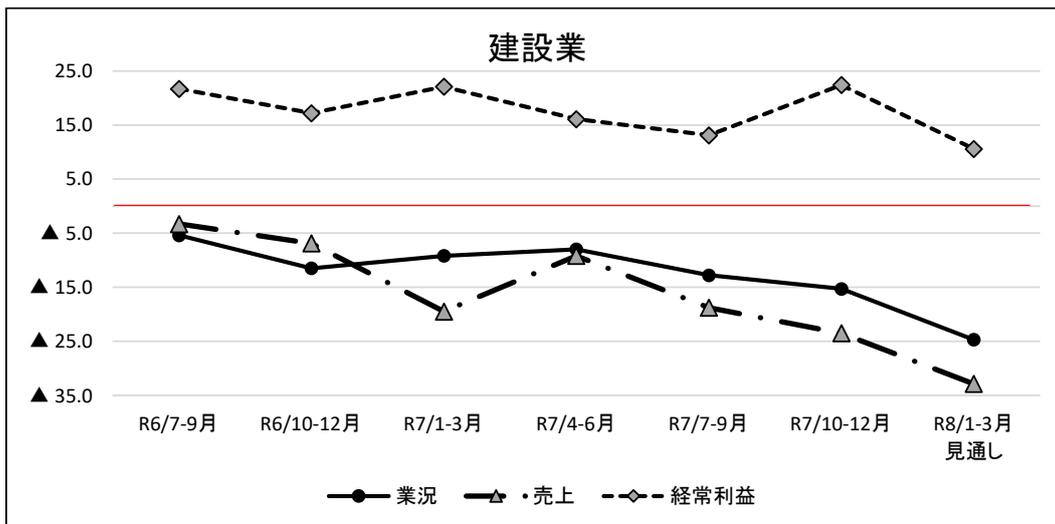
小売業	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月	R8/1-3月 見通し
業況	▲ 6.3	▲ 24.1	▲ 10.3	▲ 22.0	▲ 29.6	▲ 14.8	▲ 20.4
売上	1.6	▲ 24.1	1.7	▲ 18.0	▲ 18.5	▲ 22.2	▲ 27.8
経常利益	4.8	▲ 6.9	1.7	12.0	▲ 1.9	5.6	5.6
資金繰り	▲ 15.9	▲ 24.1	▲ 5.3	▲ 20.0	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 24.1
傾向	●	×	●	×	×	●	×



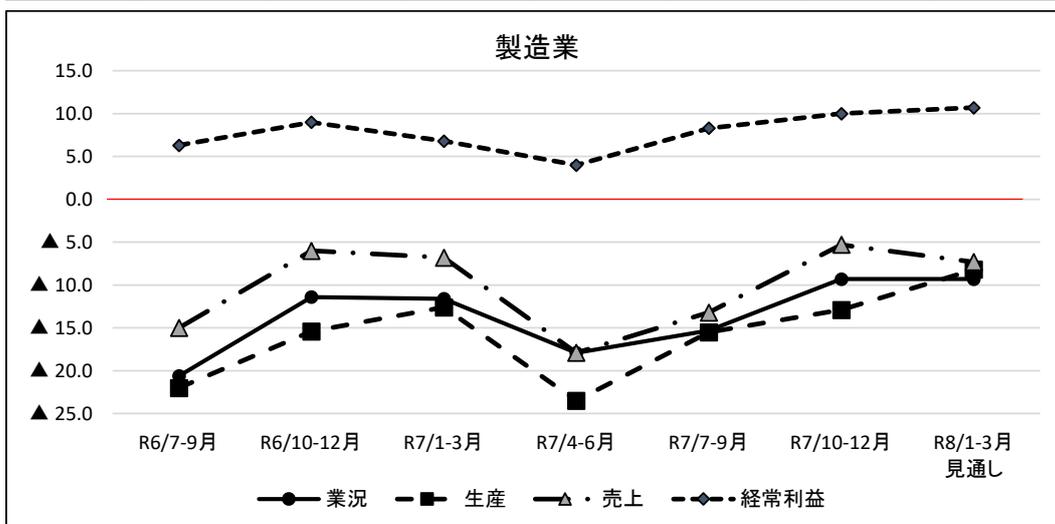
サービス業	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月	R8/1-3月 見通し
業況	3.0	0.0	▲ 12.7	▲ 1.8	▲ 14.8	▲ 9.6	▲ 13.9
売上	4.5	5.0	▲ 8.2	7.1	▲ 7.8	0.9	▲ 8.7
経常利益	6.0	11.6	▲ 0.9	8.9	▲ 6.1	14.8	3.5
資金繰り	0.8	▲ 4.2	▲ 8.2	1.8	▲ 13.9	1.7	▲ 7.0
傾向	●	×	×	●	×	●	×



建設業	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月	R8/1-3月 見通し
業況	▲ 5.4	▲ 11.5	▲ 9.2	▲ 8.0	▲ 12.8	▲ 15.3	▲ 24.7
売上	▲ 3.3	▲ 6.9	▲ 19.5	▲ 9.2	▲ 18.8	▲ 23.5	▲ 32.9
経常利益	21.7	17.2	22.1	16.1	13.1	22.4	10.6
資金繰り	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 13.8	▲ 1.1	▲ 5.9	▲ 3.5	▲ 5.9
傾向	●	×	●	●	×	×	×



製造業	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月	R8/1-3月 見通し
業況	▲ 20.6	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 9.3	▲ 9.3
生産	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 23.5	▲ 15.5	▲ 12.9	▲ 8.2
売上	▲ 15.0	▲ 6.0	▲ 6.8	▲ 17.9	▲ 13.2	▲ 5.3	▲ 7.3
経常利益	6.3	9.0	6.8	4.0	8.3	10.0	10.7
資金繰り	▲ 14.4	▲ 13.2	▲ 13.6	▲ 14.6	▲ 10.4	▲ 11.3	▲ 12.7
傾向	●	●	×	×	●	●	▲



## ② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

滋賀県内企業のコメント (R7/10-12月期)
<p><b>業況判断【好転】企業コメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今期は大型物件の完成が多数あり、売上額・利益ともに見込めるが、通期で見ると例年と変わらないもしくは微増となる見通し（建設業）。</li> <li>・メーカー価格の値上げで価格転嫁が進んでいるため、収益改善の見通し（卸売業）。</li> <li>・新規事業が軌道に乗ってきたので売り上げも向上。もう少し従業員が増えれば、更なる売上向上も可能(サービス業)。</li> <li>・今年の秋は国スポ・障スポ大会の実施により、例年よりも仕事量は増加したが、人手不足のため思うように売上を向上させることができなかった（サービス業）。</li> </ul> <p><b>業況判断【不変】企業コメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高騰を受けて販売価格改定を実施し、売上高そのものは増加したが収益性は変化しておらず、販売数量の減少がどの程度に収まるかが懸念され、インフレによる業績悪化が予想される（製造業）。</li> <li>・車業界の景気低迷による、車部品の受注減が続いており回復の兆しが見えない（製造業）。</li> <li>・近年の米問題で不安定な状況にあること、輸入資材の不作により価格が高騰しており厳しい状況下ではあるが、コスト削減や新商品の試作でより一層発展に努めている（卸売業）。</li> <li>・直営店の売上は前年比横ばいであるが、最低賃金上昇に対応するためパート従業員の時給を上げたことや、あらゆるコスト高が影響し営業損益は厳しくなる見込み（サービス業）。</li> <li>・新規事業所の開設に伴う先行投資により、一時的に利益率が低下したが、来年度には回復の見込みがある（サービス業）。</li> <li>・中国景気の悪化やトランプ関税の影響により出荷量が減少している（サービス業）。</li> </ul> <p><b>業況判断【悪化】企業コメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車・産業機械の生産見通しが悪く、来期以降の受注を確保するのが難しい状況（製造業）。</li> <li>・トランプ関税の影響により輸出売上が大幅に減少、国内需要に切り替えているが、好転は望めない（製造業）。</li> <li>・仕入商品の値上げ続きにより業績が悪化する見通し（小売業）。</li> <li>・採用が進まず、人手不足が続いている（サービス業）。</li> </ul>

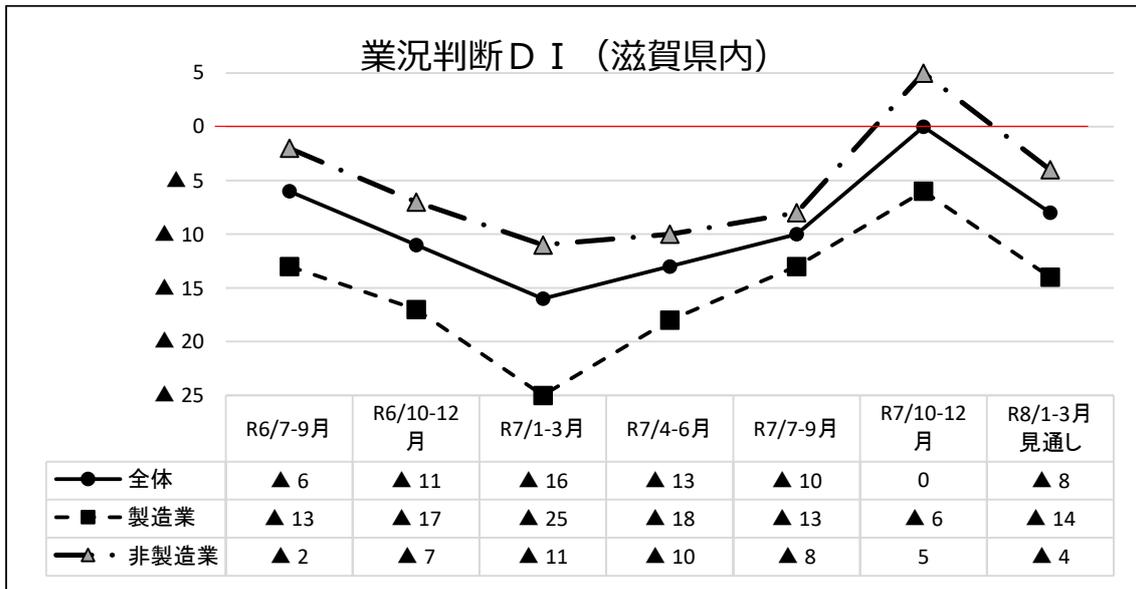
### (2) 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

#### ① 県内経済概況「概況」(令和7年11月ー令和8年1月公表)

R7/10	持ち直しの動きがやや弱まっている	製造業の生産活動は、ウエイトの高い化学が前月までの反動などで大幅低下したことから、一進一退の動きの中で弱まっている。需要面では、小売業6業態計の売上高は10か月連続で増加しているものの、物価上昇分を考慮した実質個人消費はこのところ弱含んでいる。また、自動車販売も低調である。投資需要では、公共投資は比較的堅調に推移しているものの、民間設備投資と住宅投資では大幅減少が続いている。よって、県内景気の現状は、持ち直しの動きがやや弱まっているとみられる。
R7/11	緩やかに持ち直している	製造業の生産活動は、ウエイトの高い化学と電気・情報通信機械が大きく落ち込んだ前月の反動で大幅上昇し、ともに100の基準を上回ったことなどから、3か月ぶりの大幅上昇となった。需要面では、物価上昇分を考慮した実質個人消費はこのところ弱含んでいるものの、小売業6業態計の売上高は11か月連続で増加している。投資需要では、住宅投資は大幅減少が続いているものの、民間設備投資と公共投資は増加している。よって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
R7/12	緩やかに持ち直している	製造業の生産活動は、生産用機械やウエイトの高い化学などが低下したため、このところの一進一退の動きの中で、2か月ぶりの低下となった。需要面では、物価上昇分を考慮した実質個人消費はこのところ弱含んでいるものの、小売業6業態計の売上高は12か月連続で増加している。また、国スポ・障スポの開催効果などで観光部門は好調に推移している。投資需要では、住宅投資は減少が続き、民間設備投資と公共投資も大幅減少となった。よって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

※内容は前月データに基づくコメント。

② 県内企業動向調査(R7/10-12月実績、R8/1-3月見通し) [前期比較]



景況感は大幅に改善し、6年半ぶりにマイナス水準を脱す

	回答社数	R7/7-9月期	R7/10-12月期	傾向	R8/1-3月見通し
<b>製造業</b>	<b>122</b>	<b>▲ 13</b>	<b>▲ 6</b>	●	<b>▲ 14</b>
繊維	7	▲ 71	▲ 29	●	▲ 57
木材・木製品	6	▲ 20	▲ 50	×	▲ 50
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	6	0	▲ 17	×	▲ 17
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	6	▲ 11	▲ 33	×	17
鉄鋼	4	▲ 75	▲ 100	×	▲ 100
非鉄金属	-	-	-	-	-
食料品	16	▲ 13	38	●	6
金属製品	21	9	▲ 10	×	▲ 10
一般機械	9	▲ 13	0	●	22
電気機械	10	11	▲ 10	×	▲ 40
輸送用機械	-	-	-	-	-
精密機械	5	▲ 50	▲ 20	●	▲ 40
その他	23	▲ 5	4	●	▲ 9
<b>非製造業</b>	<b>161</b>	<b>▲ 8</b>	<b>5</b>	●	<b>▲ 4</b>
建設	40	▲ 2	23	●	▲ 3
不動産	14	0	29	●	29
卸売	20	▲ 13	▲ 10	●	▲ 15
小売	24	▲ 24	▲ 33	×	▲ 29
運輸・通信	12	15	33	●	25
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	39	▲ 17	8	●	▲ 3
リース	-	-	-	-	-
その他	12	▲ 25	17	●	▲ 10

③ 県内経済概況「県内景気天気図」[変化方向]

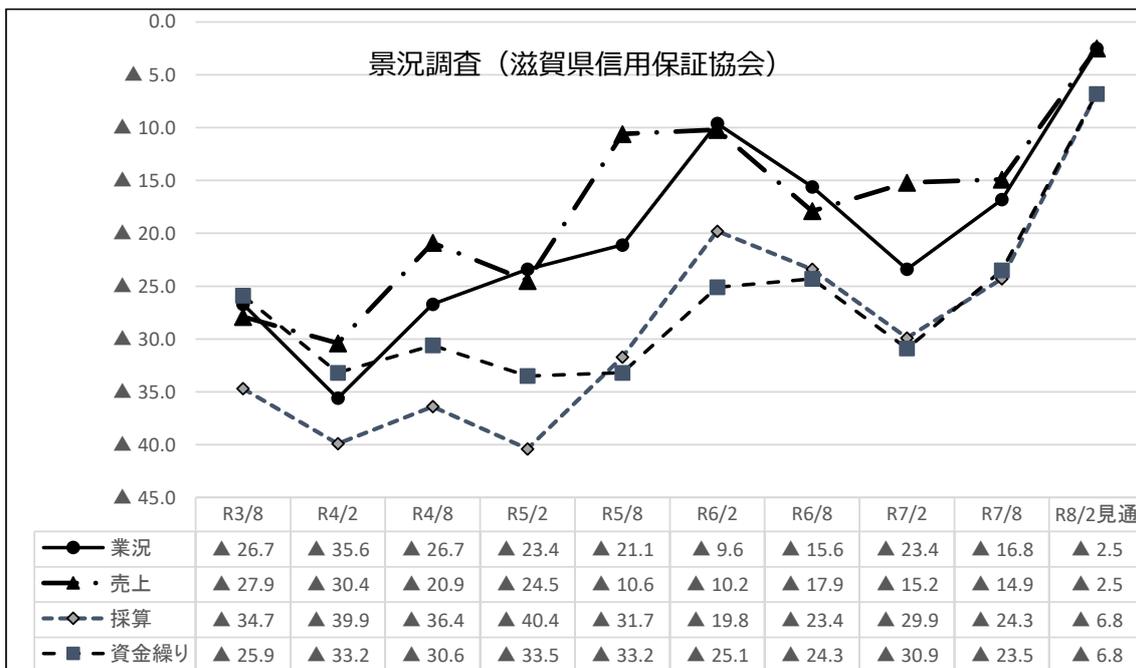
県内景気天気図	R7/6	R7/7	R7/8	R7/9	R7/10	R7/11
景気全体	▲	▲	×	×	●	▲
生産活動	×	●	×	×	●	×
個人消費	▲	▲	▲	▲	▲	▲
民間設備投資	×	▲	▲	▲	●	▲
住宅投資	×	×	×	×	×	×
公共投資	×	▲	▲	●	●	×
雇用情勢	▲	●	▲	●	▲	●

\* 変化方向…前月比、●は上昇・好転、▲は横ばい、×は下降・悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R7/8)

実施内容	調査時期：令和7年8月		調査方法：無記名アンケート方式			
		配布数： 500	回答数： 161	回答率： 32.2%		
業種構成	建設業	28.6%	サービス業	20.5%	製造業	18.6%
	小売業	12.4%	運輸通信業	3.7%	不動産業	3.1%
	卸売業	1.2%	その他	11.8%		
従業員規模	5人以下： 62.7%	6～20人： 33.5%	21人以上： 3.1%			



### 3. 近畿の景況

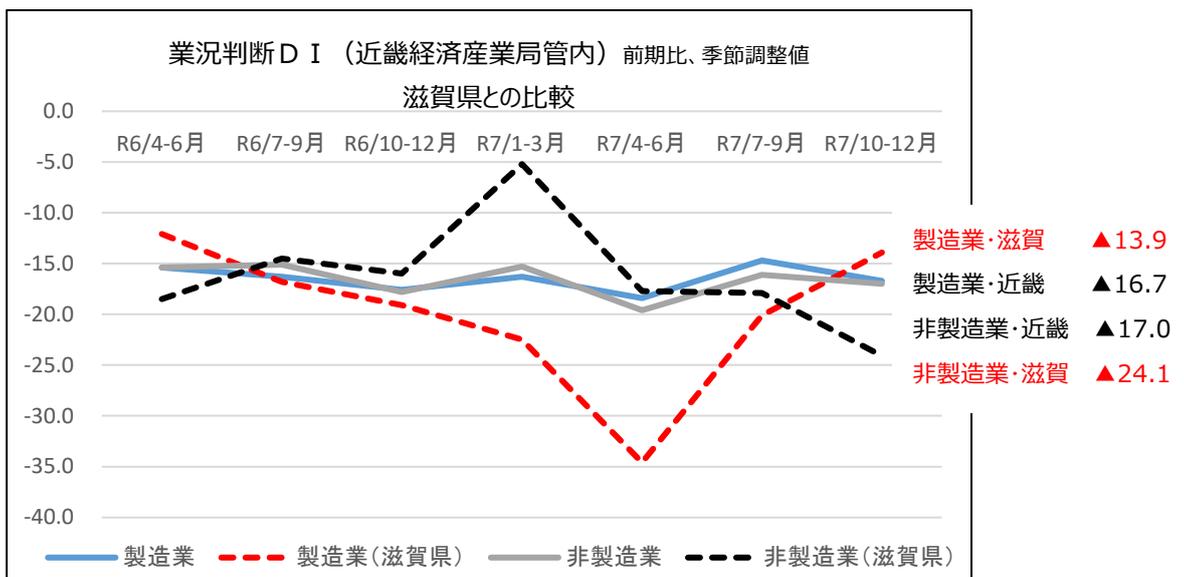
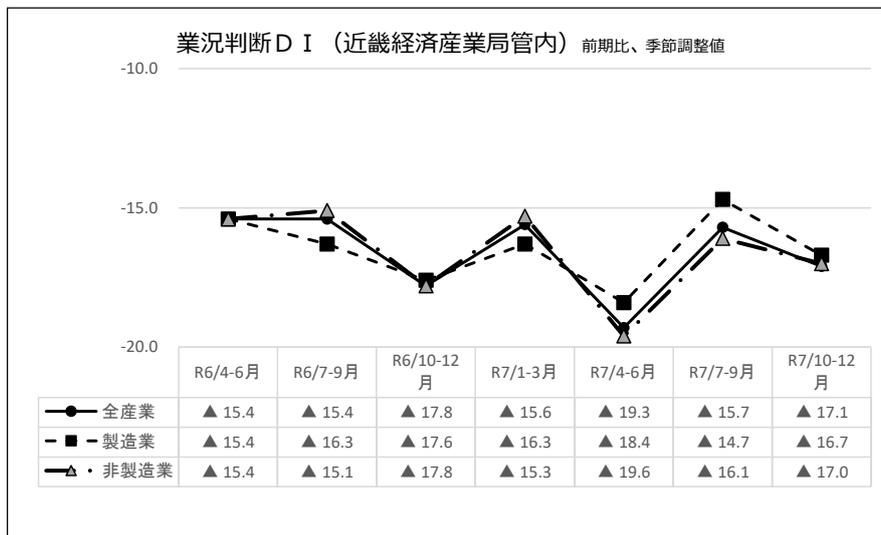
#### (1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）（2025年11月指標を中心として）

近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産は、弱含みで推移している。個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに改善している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱含みで推移している。貿易は、輸出は前年同月を上回った。雇用は、緩やかに持ち直している。先行きについては、物価上昇の影響、人手不足や賃上げの動向、為替の変動、海外経済の動向を注視していくことが必要である。

#### (2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断DI [前期比較]

##### ① 業種別業況判断DI



## 4. 全国の景況

### (1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

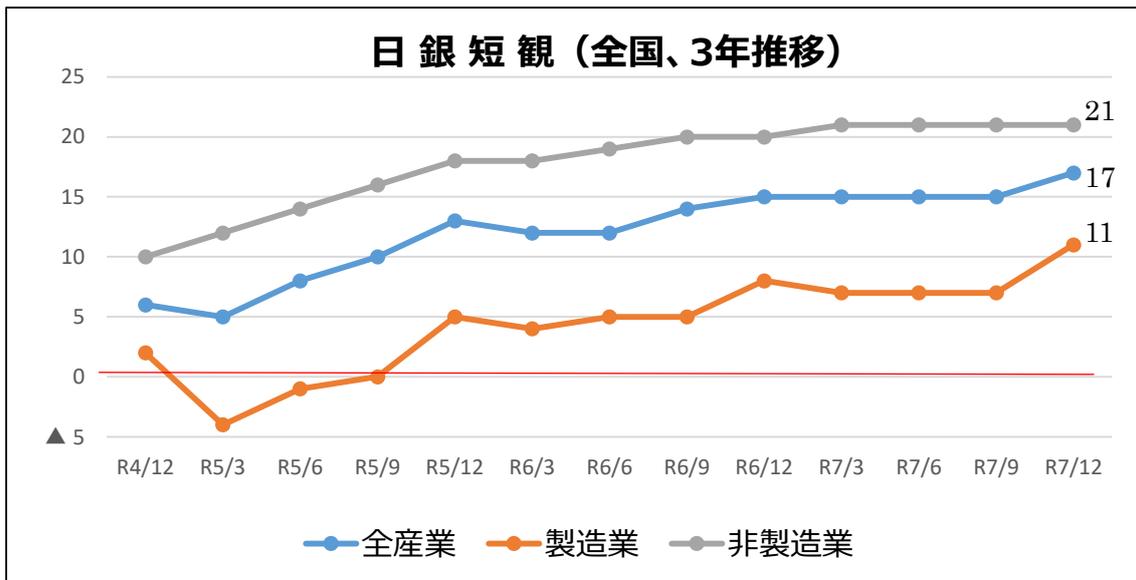
#### ① 大企業の業況判断 DI～製造業は小幅に改善、非製造業は横ばい

- ・大企業製造業は、緩やかに景気の持ち直しが続く中、前回調査から1ポイント改善の15となった。1ポイントずつと小幅ではあるが、3四半期連続と着実に改善している。素材業種は交易条件の改善などを背景に、紙・パルプ、化学、石油・石炭などを中心に改善した。一方、加工業種は、トランプ関税の影響が薄らぐことで改善傾向にあった自動車が小幅に悪化に転じたものの、需要が底堅い電気機械、販売価格の引き上げが進んでいる食料品などで改善した。
- ・大企業非製造業は、前回調査から横ばいの34となった。3四半期連続での横ばいだが、水準は歴史的にみても高い。宿泊・飲食サービスが中国人観光客の減少への懸念もあって小幅に悪化した。活発な企業活動を背景に対事業所サービスが改善したほか、需要の底堅さを反映してその他の業種でもおおむね高い水準での推移が続いている。

#### ② 中小企業の業況判断 DI～製造業は改善、非製造業は小幅改善

- ・中小企業の業況判断DIは、製造業では前回調査から5ポイント改善の6、非製造業は1ポイント改善の15となった。人手不足、コスト高、金利上昇など、下押し要因は多いものの、トランプ関税の悪影響への懸念が後退していることや景気の持ち直しのプラス効果が中小企業にも浸透しつつあることから、大企業との景況感の格差が徐々に縮小している。

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」(2025年12月15日)より)



### ③設備投資計画

- ・大企業製造業では前年比+17.5%、非製造業では同+9.9%と、いずれも堅調な結果となった。経常利益の計画が上方修正されるなど業績が改善傾向を強める中で、企業の設備投資意欲は良好な状態を維持しており、老朽設備の維持・更新投資のほか、研究開発投資やデジタル・トランスフォーメーション（DX）推進をはじめとした情報化投資、Eコマースの拡大を背景とした先進物流施設などの建設投資、脱炭素に向けた環境対応投資など、昨今重要性が高まっている投資需要を中心に堅調な計画となっているとみられる。
- ・中小企業の設備投資計画は、年度初めの計画が高かった製造業で前回調査から下方修正されたが、修正は小幅であり、プラス計画を維持している。非製造業については現時点でマイナスの計画となっているが、上方修正幅は大きく、例年通り、計画の進捗に伴って今後も上方修正されていくとみられる。  
（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」（2025年12月15日）より）

設備投資計画 (含む土地投資額)		2024年度(実績)	2025年度(計画)					土地投資額		2024年度(実績)	2025年度(計画)				
		6月調査	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査	6月調査			3月調査	6月調査	9月調査	12月調査		
大企業	製造業	7.6	4.8	14.3	16.3	17.5	大企業	製造業	13.4	5.5	2.3	12.2	24.3		
	非製造業	7.4	2.1	9.9	10.4	9.9		非製造業	0.7	-4.5	-4.0	-5.1	-4.9		
中堅企業	製造業	4.9	11.1	15.7	15.3	13.1	中堅企業	製造業	26.3	-61.0	-59.2	-48.0	-30.0		
	非製造業	8.9	-6.8	-4.2	-0.5	0.9		非製造業	28.0	-34.5	-47.7	-35.6	-23.2		
中小企業	製造業	9.5	0.2	1.6	3.4	2.5	中小企業	製造業	-14.0	-24.3	-62.4	-42.6	-37.1		
	非製造業	7.0	-15.0	-9.0	-4.9	-1.0		非製造業	9.9	-50.2	-41.9	-18.1	-19.8		

\* 除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

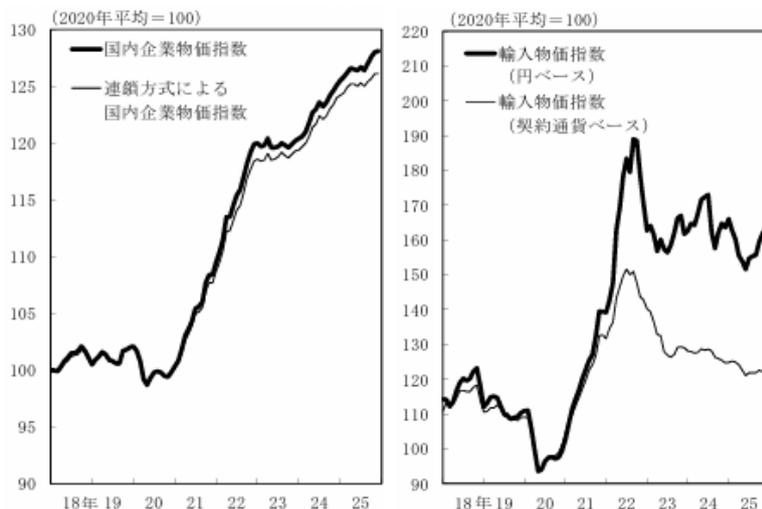
ソフトウェア投資額		2024年度(実績)	2025年度(計画)					研究開発投資額		2024年度(実績)	2025年度(計画)				
		6月調査	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査	6月調査			3月調査	6月調査	9月調査	12月調査		
大企業	製造業	8.5	1.4	8.2	10.1	8.6	大企業	製造業	5.7	1.6	4.1	4.8	4.4		
	非製造業	7.6	2.4	11.4	11.1	10.4		非製造業	5.1	2.8	9.0	9.4	8.3		
中堅企業	製造業	3.1	17.3	34.6	28.1	27.2	中堅企業	製造業	5.3	2.9	5.8	5.4	2.3		
	非製造業	-7.1	5.4	11.0	10.2	9.1		非製造業	18.1	6.3	3.1	9.3	19.3		
中小企業	製造業	0.3	24.9	40.2	42.8	41.6	中小企業	製造業	3.3	-0.2	2.2	2.3	2.5		
	非製造業	-8.5	10.7	15.1	22.9	27.1		非製造業	10.9	9.4	10.5	-5.6	-10.5		

#### ④企業物価指数および企業向けサービス価格指数（2025年12月速報）

国内企業物価指数は128.1、前年比2.4%上昇した。コメや飲食料品価格や銅などの非鉄金属の上昇が目立っている。

輸入物価指数（円ベース）は163.6で、円安傾向が続く中10カ月連続した前年比マイナスがストップした。

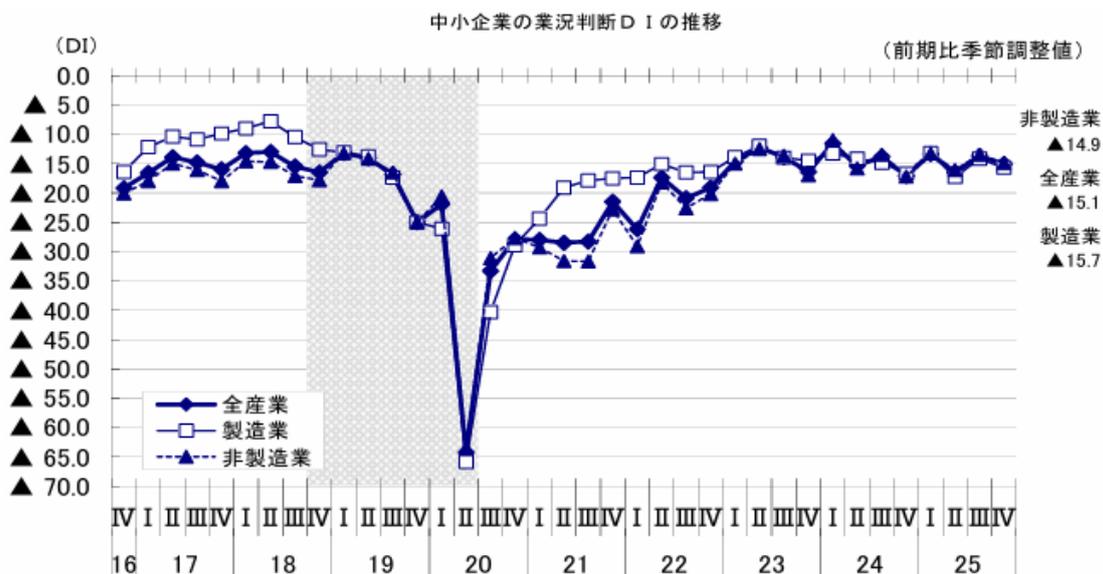
企業向けサービス価格指数は112.5、前年比2.6%上昇した。「宿泊サービス」は中国人観光客の減少などが影響し伸び率が前月を下回ったものの10.9%上昇した。



#### (2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）「全国」[前期比較]

##### ①業種別業況判断DI

全産業の業況判断DIは▲15.1（前期差1.4ポイント減）となり、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。製造業は▲15.7（同1.5ポイント減）と2期ぶりにマイナス幅が拡大、非製造業は▲14.9（同1.4ポイント減）と2期ぶりにマイナス幅が拡大した。



(注) 網掛け部分は景気後退期

(中小企業診断士 川副 郷一郎)